

会議録

会 議 の 名 称	第3回あま市生涯学習推進計画策定委員会
開 催 日 時	令和3年12月17日（金） 午前9時30分から
開 催 場 所	あま市甚目寺公民館 2階 研修室
内 容	<p>1 議題</p> <p>(1) 推進計画（案）について</p> <p>(2) 策定までのスケジュールについて</p>
資 料	<p>資料1 あま市生涯学習推進計画（案）</p> <p>資料2 あま市生涯学習推進計画策定スケジュール</p>
出 席 委 員	<p>岩瀬真寿美委員長、渡辺幸人副委員長</p> <p>石川稔子委員、中田加代子委員、林文博委員、</p> <p>村田和典委員、吉川孝子委員（50音順）</p>
欠 席 委 員	林初音委員、村上千代子委員
事 務 局	<p>（教育委員会）</p> <p>松永裕和教育長、吉川誠教育部長</p> <p>（教育部生涯学習課）</p> <p>鎌倉崇志課長、後藤好和主幹、近藤博主幹、</p> <p>小川泰洋係長、山崎友和主査、駒瀬直輝主任</p>

会議の経過

1 議題

(1) 推進計画（案）について

資料1に沿って事務局より説明

【質疑応答】

事務局：基本理念のうち、「参画して」の部分を「関わって」に変更した。
皆様の意見を伺いたい。

委員：基本理念のうち、「つながり」と「関わって」は同じ意味ではないか。

委員：個人的には「関わって」だと、どういうことだろうとぐっと引き込まれるため、面白いなと思った。

委員長：「関わって」の部分の他の候補として「広げよう」はどうか。
スパイラルの上昇するイメージとも合い、また、「つながり」と意味が重なることもない。

教育長：学習したことが市民、あるいはあま市全体で広がっていくという点では、「学び・つながり・広げよう」だと標語のようにうまく収まる。
「関わって」だとちょっと異質であるような気がする。

委員：逆にそこが良いと思う。「広げよう」だと広げることを上から押し付けるではないが、はっきり言い切っている。「関わって」だと捉え方が未知数であり、自分だったらそのあと何をするのかという問いかけにもなっていて、新しいと感じた。これからの時代を押し付けではなく、皆で考えていこうというニュアンスで取った。

教育長：7ページ目のイメージ図の横にある「学び」、「つながり」、「関わって」は番号を付けなくてもよいのではないか。イメージ図の説明としてもう少し分かりやすく工夫できると思う。

事務局：SDGsの説明の掲載箇所を第4章から4ページの第1章冒頭へ変更した。他の計画を見ると第1章に掲載されているため、それに倣う形とした。

8ページの体系図については、それぞれの施策がSDGsのどの目標に当てはまるか分かるように、アイコンを付け加えた。アイコンが小さいため、ページ下には文字でそれぞれの目標が分かるようにした。

また、5ページ下にはスパイラルの用語説明を付け加えた。

皆様の意見を伺いたい。

委員長：7ページにスパイラルのイメージ図があるのに対し、用語説明が5ページにあるため、5ページと一緒にしたほうが分かりやすいのではないか。

事務局：話が戻るが、基本理念の「関わって」と「広げよう」はどちらがよいか。

委員：学校のPTA活動がボランティア化する中、自身も読み聞かせのボランティアをして3年目になるが、中々人が集まらないというのが現状であった。コロナが収まりつつある中、読み聞かせをやってみたいという保護者の方が出てきたが、どうやればいいか分からないという声がある。自分の場合、10年前に読み聞かせの講座に参加し今につながっているが、ここまで来るのに10年かかっている。この流れを今の時代スピーディに進めないといけないということで、そういった下地になるような講座であってほしい。そのためには学校との連携も重要になってくるであろう。これが「関わって」から連想したことである。

委員：自主的に生涯学習を続けてやっていくという点から見ると、「広げよう」は自分から学んでつながって広げていき、地域に還元するというのがよいと思う。

教育長：8ページの体系図にある6つ目標のうち、3つ目の「専門家」という言葉が浮いてみえる。

委員：確かにその言葉だと、スパイラルとして広がっていくイメージの中、狭まってしまう。内容からすると、「相談」というような言葉がよいのではないか。

委員：「共有」はどうか。

事務局：今出た候補の中から検討させていただく。

副委員長：23ページから26ページのアンケートのグラフが見にくい。それぞれのグラフの模様を変えるとよいのではないか。

委員：濃淡を使い分けると見やすくなると思う。

委員：円グラフにしてはどうか。

委員長：中のページが白黒であるならば、模様を変えるとよいと思う。

委員：目次のところにページ数は載せないのか。

事務局：載せない。

委員長：ページ数があつたほうが便利かと思う。

事務局：それでは、各章のページ数は載せるようにする。

委員：33ページにあるイラストは元の絵か。とすると表紙のイラストは裏側の絵になるのか。

事務局：裏側の絵になる。女の子が主となるため、反転して表紙に使った。

委員：反転すると時計の針が逆になったり、螺旋状の階段が裏表紙になってしまうため、どうにか工夫できないかと思った。

裏表紙までイラストを載せず、全体のイラストを表紙のみに入れるのはどうか。

委員長：表紙のタイトルの文字をもっと大きくしてはどうか。

教育長：表紙下部は「あま市教育部」ではなく「あま市教育委員会」、あるいは「あま市」のみでよいのではないか。ちなみに、愛知県の場合は「愛知県」で、最初の挨拶文は県知事、最後の発行は「愛知県教育委員会生涯学習課」となっている。自治体によって様々ではある。

委員：補足になるが、愛知県は県知事が代表して挨拶しているのは、生涯学習が教育委員会の内容ではなく、福祉、医療等も関係してくることが背景にある。

教育長：あま市も同様に「あま市」として市長の挨拶文、編集は「あま市教育委員会生涯学習課」とするのがよいのではないか。事務局内で確認をお願いしたい。

委員長：そうすると、最後の言葉は教育長がよいのではないか。現在の案では、コラムとして掲載予定であったわたしの言葉が最後に来る。

委員長：32ページのアンケート結果を受けての結論については、今後の課題として載せたほうがよいのではないか。

教育長：34ページが白紙となっているため、そこも有効に活用すればよいと思う。

事務局：一部コラム掲載の関係で白紙でない部分があるが、本来は各扉の横は白紙を予定していた。ページ数に制限があり、案では64ページでぎりぎりの状況である。60ページから64ページの間で調整できればと考えている。

委員長：先ほど議論していた「専門家」という言葉の代案で、「連携」はどうか。

事務局：「関わって」、「専門家」というそれぞれの言葉選びについては、この場で決めたい。

委員長：「関わって」については、先ほどの意見以外に何かあるか。

副委員長：「関わって」は問題提起のように「次に何が起こるのだろう、じゃあ読んでみようか」とか「これから何をしようか」というように前向きな印象を持つ。面白いのは「関わって」であると思う。

委員：「関わって」は自発的に発信するイメージがあるので、これからの社会にとって非常に重要なことだと思う。

委員：どちらにしてもその部分の表紙タイトルを強調させる必要があると思う。

委員：個人的に「関わって」で特に違和感はなかったが、説明を聞いてそうなのだとして理解できたため、用語説明があるとよいと感じた。キャッチーなのは「関わって」だと思う。

委員長：それでは「関わって」がよいという意見が多かったため、「広がって」ではなく「関わって」に決定する。

事務局：「関わって」は漢字でよいか。前回平仮名がよいという意見も出た。

委員：平仮名がよいのではないか。

事務局：それでは、「かかわって」の部分のみ平仮名表記とする。

委員長：続いて、「専門家」に置き変わる言葉としていくつか候補が挙げたが、何か意見はあるか。

委員：「連携」がしっくりくると思う。

委員：基本理念にある「つながり」という言葉を考慮すると、「相談」より「連携」のほうがよいと思う。

委員：先ほどは思いつかなかったので「相談」という言葉を挙げたが、「連携」のほうがよいと思う。

委員長：それでは「連携」がよいという意見が多かったため、「連携」に決定する。

委員：最後の64ページに記載されている美和高校生徒の名前のうち、「田中」は正しくは「田内」である。

また、同じページに記載されている「同美和高校」の「同」は不要でないか。

更に、同じページの【インタビュー】のところに記載されている氏名の前にある肩書との間を1マス空けたほうがよいと思う。

委員：冊子はカラーにならないのか。10年に1度のものなので。

事務局：全てカラーは難しい。

教育長：字体や字の大きさを工夫し差別化を図るとよいのではないか。

事務局：部分的に中もカラーとすることも可能かもしれない。

教育長：予算のこともあるため、それが可能かどうかを含めて業者とのやり取りを進めてほしい。

委員長：施設一覧のページもカラーだとよい。

委員：第6章の講座一覧表の下にあるSDGsの目標の説明については、該当のないものは削除してよいと思う。

(2) 策定までのスケジュールについて

資料2に沿って事務局より説明

【質疑応答】

なし

各委員より一言

副委員長：だいぶ形になってきたと思う。

切り取って載せている写真に違和感を持つため、そのまま載せたいところであるが、ぼかしたりして工夫をするとよいと思う。

また、イラストの配置にもこだわっていただきたい。

委員：よくここまで頑張ってくれさったと思う。

写真やイラストは更に多用して視覚的なものにしないと、どうしても文章を読むのが辛くなると思う。もう少し増やしてもよいのではないか。

委員：大変見やすく、理念も分かりやすくなってきたと思うが、アンケート結果を受けての内容が薄すぎると感じる。理念があって、ここに具体的な10年後のビジョンがくると思うので、内容を厚くしていただきたい。

委員長：31ページの要望の部分で数多くの回答があるため、そこをうまく使うとよいと思う。

委員：以前に、より多くの市民に手に取ってもらえるようにという意見があったが、表紙を見てもまさに目に付くものになったかと思う。

また、スパイラルという言葉は負のイメージがあるという意見も以前に出たが、最初の「策定にあたり」のページの説明のところを太文字にするなど、最初に見て「こういうものなんだ」と読み手が分かるようにするとよいと思った。

委員：イラストを多用していただけるとよいと思う。

委員：案の修正を各委員が行う際、半角の数字を使うなどの基準があれば事前に教えていただきたい。

第4回あま市生涯学習推進計画策定委員会

開催日時：令和4年3月4日（金） 午前9時30分から

開催場所：あま市甚目寺公民館 2階 研修室